

特別支援教育課便り

教職員・幼児児童生徒・保護者を応援します！

サポート

No.124

平成27年10月1日発行

特別支援教育課 指導班

平成27年度 早期からの教育相談・支援体制構築事業

早期からの教育相談・支援体制構築フォーラム

「就学に向けた連携と支援～気付きをつなぎ 支援をつなぐ～」

平成27年8月21日（金）、秋田テルサにて「早期からの教育相談・支援体制構築フォーラム」を開催しました。各市町村から保健、福祉、保育、教育等の関係者200名余りが参加し、早期から関係機関が連携して取り組む相談体制について考えました。

会では、東北福祉大学教育学部大西孝史教授（前文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官）から、早期からの支援の必要性や合理的配慮についての講演、北海道美瑛町そだちの教室の目良久美先生から、子育て支援ファイルを活用した美瑛町における早期からの支援の取組についての紹介をしていただきました。また、パネルディスカッションでは、大館市教育委員会教育研究所所長の山本多鶴子氏、由利本荘市教育委員会学校教育課主席参事兼課長補佐の高野睦氏を交え、「つなぐ」をキーワードに、本人・保護者を支える仕組みづくりや就学後の継続した支援等について意見が交わされました。

パネルディスカッション



就学に関するリーフレット

（左：由利本荘市 右：県教育委員会）

就学の流れや学校での学習について保護者へ説明する際使用します。

大西教授の司会により、3名のパネリストの熱心な意見交換がなされました。

パネリストからは「就学の仕組みをたくさんの人に周知していくこと」、「保護者の不安を軽減しながら意識を改革していくこと」、「就学先の職員のサポートも重視していくこと」等、これまでの取組で重視してきたことが話されました。パネルディスカッションの最後には、大西教授から、「特別のことをしている市町村がうまくいっている訳ではない。当たり前のことを当たり前に行っているだけ。サポートファイル等の活用は、それを介して関係者が話し合い、連携していくことに意味がある。誰でもできることを組み合わせ、継続することで必ず成果が出る。」との話があり、多くの参加者から、今後に向けた重要な提言をいただいたとの感想が聞かれました。

就学に不安を抱える本人・保護者を支え、スムーズな移行を進めるためには、関係機関が連携して支援することが必要です。全ての子どもが安心して就学を向えられるよう、関係者が手を携えて支援することを考えたフォーラムでした。

おめでとうございます

◇平成27年度秋田県学校関係緑化コンクール受賞

平成27年度の秋田県学校関係緑化コンクール「学校環境緑化の部」の各受賞校が発表されました。応募した25校の小・中学校、特別支援学校の中から、特別支援学校では次の学校が受賞しました。知事賞の能代養護学校は、地域と連携を図った取組や、5カ年計画のブナや杉の敷地内への植樹という特色が評価されました。

知事賞	能代養護学校
東北森林管理局長賞	大曲養護学校
県教育委員会教育長賞	比内養護学校
県緑化推進委員会会長賞	ゆり養護学校
県森林組合連合会会長賞	比内養護学校かづの分校
秋田県森と水の協会会長賞	比内養護学校たかのす分校
県花いっぱい運動の会会長賞	天王みどり学園



◇フォトコンテスト受賞

横手養護学校、渡邊大地さん（高等部3年）の作品が次のフォトコンテストで入賞しました。大地さんの作品と感想、文化部写真班を指導されている山田育宏教諭のお話を紹介します。



「さきがけフォトサロン学生生徒の部」入選 「夏の一滴」

あじさいと水滴がとてもきれいでした。あじさいが引き立つように、背景は緑の葉とその影を入れて工夫しました。入選して、びっくりしました。

「よこての全国線香花火大会秋田県南高校生フォトコンテストデジタルカメラの部」特別賞

「一輪咲く夏の夜の花」

きれいに見えた線香花火をアップで撮ることだけを考えて撮影しました。線香花火をしている人を撮っている写真が多いのに、特別賞となり、びっくりしています。

指導者の山田育宏教諭より

生徒の感性を尊重しながら、一番に撮りたい部分（主題）をよく考え、主題を引き立たせる脇役（副素材）を探して写真に写し入れるよう、いつも話しています。「夏の一滴」の副素材は背景の緑の葉、「一輪咲く夏の夜の花」の副素材は背景の黒と考えています。



第14回秋田県特別支援学校総合体育大会

平成27年9月18日(金)、県立中央公園県営トレーニングセンター、あきたスカイドーム等、6会場において、第14回秋田県特別支援学校総合体育大会を開催しました。県内の特別支援学校14校と、中学校13校の特別支援学級から、過去最多の計1,165名が参加し、熱戦を繰り広げました。団体競技の結果を報告します。

○綱引き	小・中学部	1位	大曲養護学校	2位	栗田養護学校
	高等部	1位	ゆり養護学校	2位	比内養護学校
○バスケットボール	男子	1位	栗田養護学校	2位	能代養護学校
	女子	1位	大曲養護学校	2位	能代養護学校
○ユニホック	小・中学部	1位	栗田養護学校	2位	大曲養護学校
	高等部	1位	比内養護学校かづの分校	2位	比内養護学校たかのす分校
○ピン倒しボール	小学部	1位	栗田養護K	中学部	1位 栗田養護A
	高等部	1位	秋田きらりA		
○サッカー	1位	栗田養護学校	2位	大曲養護学校	3位 能代養護学校
○グラウンドゴルフ	小・中学部	1位	大曲仙北合同A	高等部	1位 栗田養護学校

学校探訪 5 光る汗 輝く瞳 挑む姿 稲川養護学校

地域の歴史・伝統文化に関わる

活動と新たな取組

湯沢市の伝統行事、「七夕絵どうろう祭り」での浮世絵美人画を保存会の指導を受けて、地元の高등학교と共同制作して15年となります。下絵から色づけ等の繊細な描画工程に全神経を集中させて完成させます。また、学校の伝統として太鼓演奏に取り組む学校は他にもありますが、「湯沢南家佐竹太鼓」という歴史ある伝統太鼓に挑戦しており、10月の全国うどんエキスポでも披露する予定です。

そして、平成24年度から中学部生徒が、学校周辺の清掃・美化活動「いーなロードプロジェクト」を行っています。近隣国道沿いの花壇整備のほか、地域への花苗贈呈やアーケードシャッター、犬っこ銅像磨きに取り組んでいます。また、高等部作業学習では、実践的職業教育として、伝統工芸の漆器や地場産業の稲庭うどん、高級製靴、いぶりがっこなどにも、精力的に挑戦しています。これからも、地元の資源を生かした活動に期待しております。



絵どうろう：あでやかに



佐竹太鼓：技と心を磨く



ひまわりが繋ぐ心の輪